

道徳通信

No.1 2022年(令和4年)4月18日(月)



学習日：4月14日(木) 内容：「みんなの自由な公園」

公園の管理人になったコジマに公園の利用者さん達から不満が届きました。それぞれの不満を解消するために、管理人はルールを決めましたが、全員が満足できるルールを作ることはできませんでした。利用者さん達の不満は爆発。快適な公園にするために必要なことを考え、「自由」と「責任」について理解を深めましょう。

【生徒の考え】 「みんなの自由な公園」を学び、感じたこと、考えたこと

「自由」と「やりたいことができる」は違うと思う。自由というのは、相手と自分が平等にいい思いができる。お互いが「やりたいこと」と「ちょっとがまんする」をすればいいと思う。

自由とはだれもがよりよく過ごせて、ゆずりあいがいがあること、自分の自由を貫きながら、相手の自由もしっかり考えることだと思います。

自由は自由でも相手のことを考えないと、トラブルが生じるので、思いやりを持ったうえで、自由に過ごすことが大切だと思います。

自由とはお互いが尊重して初めて成り立つもの、お互いがどこかで我慢して常識の中で得られるものだと思います。

自由とは一人一人がルールを守り、みんなのことも考えながらみんなが楽しめる、相手の意見を聞きながら何かは我慢しながらもみんなが納得して楽しめるということだと思います。

自由だからといって自分勝手にするのではなく、相手の気持ちを考えたり、相手を思いやる行動が大切だと思います。

授業の号令の時、中々起立せずに自分のやりたいことを優先する人がいます。そういう場合、学級委員は号令をかけられませんので、その人を全員が待つことになります。誰もが自分のやりたいことを優先したいものです。しかし、時には自分のやりたいことを我慢して、クラス全体を優先すべき時があるのではないのでしょうか。全員が充実した学校生活を送るためには、そういった相手への「気配り」が必要です。自分の生活を振り返ってみてください。